

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月14日

上場会社名 ナビタス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6276 URL <https://www.navitas.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 辻谷 潤一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 日沼 徹 TEL 072-244-1231
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	2,216	△11.4	9	△92.8	8	△94.5	9	△94.5
2019年3月期第2四半期	2,501	15.9	137	167.3	146	125.8	176	509.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 3百万円 (98.2%) 2019年3月期第2四半期 178百万円 (419.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	2.31	—
2019年3月期第2四半期	41.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,557	3,147	69.1
2019年3月期	4,740	3,168	66.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 3,147百万円 2019年3月期 3,168百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,400	9.4	260	13.4	280	11.0	240	△34.3	56.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	5,722,500株	2019年3月期	5,722,500株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,453,633株	2019年3月期	1,478,935株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	4,252,815株	2019年3月期2Q	4,243,565株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(連結の範囲または持分法適用の範囲の変更)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)のわが国における景況感は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費に持ち直しの動きが見られるなど緩やかな回復基調にありましたが、製造業の景況感の悪化などから景気の回復は緩やかなものとなりました。継続する米中貿易摩擦等を背景とした中国の景気減速が緩やかに進行しており、大企業・中堅企業における生産設備投資計画に若干の下方修正が見られています。

こうした状況の中、当社における当第2四半期連結累計期間は、「2020年度に安定成長軌道に乗せる」という目標に向けた重要な期間に位置付け、組織体制を変更し、事業ドメインと事業責任を明確化し、スピード経営とグローバル展開を経営方針とした折り返し地点であり、全役職員一丸となって事業邁進に取り組んでまいりました。

装置事業を主たる事業とするナビタスマシナリー株式会社は、国内市場では、設備投資マインドがやや低下してきたことによる影響を受けております。第2四半期までの状況は前期程の力強さは感じられなかったものの、標準機の受注は底堅く、特注機の引き合いは継続しております。また、社会構造上の問題となって久しい人口減少による人手不足を解消するための自動化・省力化機械への対応など、これまで手掛けてこなかった引き合いにも着手しております。

商品事業を主たる事業とするナビタスニイズ株式会社は、アミューズメント業界向け成形品や転写箔などの伸長により、堅調に推移しております。海外向け転写箔は、伸び悩みはあったものの底堅く推移し、年度後半への期待を国内外ともに残しております。

画像検査事業のナビタスビジョン株式会社は、引き続きカード・ラベル・ボトル印刷業界の国内外での引き合いが継続しているものの、第1四半期の影響を上半期中に挽回できませんでした。今期は、営業体制強化の為に積極的な人材採用・投資を進めておりますが、その立ち上がり時間に時間を要しております。しかし、第3四半期からこの営業強化と新製品投入の効果が出てきており、年度後半の引合いは力強く、遅れを取り戻す施策を実施しております。

海外市場における、NAVITAS VIETNAM CO., LTD. は、堅調に推移しております。2019年1月から始動したNAVITAS THAILAND CO., LTD. は、引き続き受注状況はスムーズであり、ASEAN市場は回復基調にあると判断しております。納維達斯机械(蘇州)有限公司は、中国市場が力強さを欠く中で、前年同期を上回り改善状況にあり、堅調と判断しております。

親会社としての当社におけるCSC事業(メンテナンス事業)は引き続き好調であります。研究開発室では、研究成果として新製品へつながる成果が出始めており、引き続き研究開発投資等を継続してまいります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は22億16百万円(前年同期比11.4%減)となりました。また、利益面におきましては、営業利益は9百万円(前年同期比92.8%減)、経常利益は8百万円(前年同期比94.5%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益として関係会社株式売却益を計上したことにより9百万円(前年同期比94.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況に関する分析)

財政状態については、当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1億83百万円減少し、45億57百万円となりました。これは主として現金及び預金が2億21百万円、受取手形及び売掛金が58百万円減少し、有価証券が1億円、流動資産(その他)が86百万円、商品及び製品が53百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して1億62百万円減少し、14億9百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が82百万円、未払法人税等が57百万円、未払消費税等が37百万円減少し、流動負債(その他)が36百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して20百万円減少し、31億47百万円となりました。これは主として利益剰余金が26百万円減少したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末と比較して2.3ポイント増加し、69.1%となりました。

(キャッシュ・フロー分析)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して1億21百万円減少し、22億50百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローでは、30百万円の支出(前年同期は93百万円の支出)となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益の計上27百万円、売上債権の減少1億62百万円、仕入債務の減少60百万円、法人税等の支払73百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、11百万円の支出(前年同期は3億39百万円の収入)となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出24百万円、無形固定資産の取得による支出10百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入19百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、71百万円の支出(前年同期は24百万円の支出)となりました。これは主として配当金の支払37百万円、短期借入金の増減額31百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績見通しにつきましては、2019年5月16日の決算発表時の業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,372,293	2,150,646
受取手形及び売掛金	786,710	728,645
電子記録債権	186,306	78,658
有価証券	—	100,000
商品及び製品	108,747	161,982
仕掛品	294,169	254,393
原材料及び貯蔵品	164,383	162,917
その他	101,188	187,349
貸倒引当金	△1,574	△1,376
流動資産合計	4,012,224	3,823,217
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,687	9,115
機械装置及び運搬具(純額)	27,631	25,079
土地	239,171	239,171
その他(純額)	27,785	27,337
有形固定資産合計	302,275	300,703
無形固定資産		
無形固定資産	28,116	36,345
投資その他の資産		
投資有価証券	256,120	253,276
退職給付に係る資産	904	1,950
繰延税金資産	99,643	100,310
その他	42,308	42,145
貸倒引当金	△683	△683
投資その他の資産合計	398,294	396,998
固定資産合計	728,685	734,047
資産合計	4,740,910	4,557,264

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	998,017	915,305
短期借入金	37,770	4,227
リース債務	5,040	3,751
未払法人税等	73,894	16,605
未払消費税等	49,326	12,207
賞与引当金	48,238	56,251
その他	243,845	280,758
流動負債合計	1,456,133	1,289,106
固定負債		
リース債務	8,633	7,447
役員退職慰労引当金	70,455	—
退職給付に係る負債	36,747	37,534
その他	—	75,180
固定負債合計	115,835	120,162
負債合計	1,571,968	1,409,268
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,918,775	1,921,711
利益剰余金	1,550,600	1,524,511
自己株式	△473,001	△464,919
株主資本合計	3,096,374	3,081,303
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,638	24,083
為替換算調整勘定	43,929	41,896
その他の包括利益累計額合計	72,567	65,979
非支配株主持分	—	713
純資産合計	3,168,941	3,147,996
負債純資産合計	4,740,910	4,557,264

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	2,501,266	2,216,845
売上原価	1,655,006	1,480,880
売上総利益	846,260	735,964
販売費及び一般管理費	709,069	726,124
営業利益	137,190	9,840
営業外収益		
受取利息	364	460
受取配当金	2,315	2,783
受取賃貸料	5,666	4,453
その他	4,129	669
営業外収益合計	12,476	8,367
営業外費用		
支払利息	1,176	1,116
売上債権売却損	798	87
為替差損	714	8,437
その他	123	537
営業外費用合計	2,812	10,178
経常利益	146,853	8,029
特別利益		
固定資産売却益	115,275	—
関係会社株式売却益	—	19,738
特別利益合計	115,275	19,738
特別損失		
固定資産除却損	503	—
特別損失合計	503	—
税金等調整前四半期純利益	261,625	27,768
法人税等	84,634	17,966
四半期純利益	176,990	9,801
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	176,990	9,803

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	176,990	9,801
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,015	△4,554
為替換算調整勘定	△4,219	△2,024
その他の包括利益合計	1,795	△6,579
四半期包括利益	178,786	3,221
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	178,786	3,215
非支配株主に係る四半期包括利益	—	5

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	261,625	27,768
減価償却費	6,944	8,291
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△285	△198
賞与引当金の増減額（△は減少）	12,985	8,042
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	5,563	786
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	349	△70,455
受取利息及び受取配当金	△2,679	△3,244
支払利息	1,176	1,116
為替差損益（△は益）	702	6,538
固定資産除却損	503	—
固定資産売却損益（△は益）	△115,275	—
関係会社株式売却損益（△は益）	—	△19,738
売上債権の増減額（△は増加）	△294,830	162,561
たな卸資産の増減額（△は増加）	61,127	△15,523
仕入債務の増減額（△は減少）	26,847	△60,881
未払消費税等の増減額（△は減少）	45,062	△21,551
その他	△66,344	2,317
小計	△56,527	25,829
利息及び配当金の受取額	2,679	3,244
利息の支払額	△1,176	△1,116
法人税等の還付額	—	15,543
法人税等の支払額	△38,353	△73,814
営業活動によるキャッシュ・フロー	△93,378	△30,314
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,858	△24,536
有形固定資産の売却による収入	387,940	—
無形固定資産の取得による支出	△16,624	△10,521
投資有価証券の取得による支出	△22,050	—
出資金の分配による収入	3,511	3,686
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 売却による収入	—	19,492
投資活動によるキャッシュ・フロー	339,918	△11,878
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△920	△31,593
長期借入金の返済による支出	△216	△207
リース債務の返済による支出	△2,680	△2,474
自己株式の取得による支出	—	△4
配当金の支払額	△21,010	△37,685
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,827	△71,964
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,725	△7,490
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	219,988	△121,646
現金及び現金同等物の期首残高	1,858,981	2,372,293
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,078,969	2,250,646

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲または持分法適用の範囲の変更)

(連結範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間において、タクトピクセル株式会社は、第三者割当増資の実施及び当社保有株式の一部売却により、連結の範囲から除外しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(連結納税制度の適用)

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しております。

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社及び国内連結子会社は、2019年6月開催の定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う退職慰労金の打切り支給を決議いたしました。

これに伴い、「役員退職慰労引当金」を全額取り崩し、「役員退職慰労引当金」に計上しておりました75,180千円を「長期未払金」として固定負債の「その他」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社及び連結子会社の事業は、印刷機器関連の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。